

よい会社をつくろう よい経営者になろう よい経営環境をつくろう

4

April  
2019

山形県中小企業家同友会

# 月刊 同友 やまがた



青年部設立総決起集会

(左から) 座長・大久保 徳朗氏、講師・大島 右京氏、室長・石川 晴久氏、青年部準備会長・佐藤 淳氏



よい会社 よい経営者 よい経営環境をめざす  
中小企業経営者の全国組織

2018年度スローガン

「人を生かす経営」の総合実践で  
地域と日本経済の発展に貢献しよう

# 高い志のもとチャレンジし続けよう！



3月12日、ホテルメトロポリタン山形にて青年部設立総決起集会が開催され、会内外から55名が参加しました。

山形同友会では各地同友会の青年部運動の高まりを受け、2018年度に青年部準備会が発足し、2019年度の青年部設立に向けて活動を進めていました。設立を目前に控えた本会には、各地同友会の青年部会員も多数応援に駆けつけていただきました。



佐藤 淳青年部準備会長

開会あいさつでは佐藤 淳青年部準備会長(株)アルファ・コム 代表取締役)がゲスト・各地同友会の皆様への御礼、青年部の活動概要を述べたのち「報告者の大島社長はまさに青年部の第1ラウンドにふさわしい方。今日の勢いをもって青年部を立ち上げ、多くの方にご参加

いただきたい。今日は、明日からすぐに学びを实践できるように、皆様と共に学びあい、語り合いたい」と述べました。

## 後継者としての苦悩

記念講演では「親子承継の葛藤と乗り越えた先に見えた次の50年 ～新価値創造で100年企業へ～」と題し、東京同友会のフジコン(株) 代表取締役 大島 右京氏よりご講演いただきました。

創業から50年を超えるフジコンは端子盤製造に特化し、「幸せ創造企業」を掲げる「理念型経営」の企業です。大島氏は「社長付」として入社しましたが、カリスマ創業社長である父の後継者としての苦悩が続きました。そのまま現場経験を積まずに役員となり、入社11年目には山梨事業所の工場長に任命されました。「現場を経験していないのに現場を統括する」「しかし自分から現場に入るだけの勇気が出ない」というジレンマに悩みながら赴任しましたが、その一か月後、社長(当

時)のもとに、社員から匿名で手紙が届きました。そこには「山梨の従業員は人事異動以来やる気をなくし不安の中で仕事をしています」「自社の製品もわからない、現場でのビス付けも、荷物の梱包も運搬もしたことの無い人に、大勢を束ね、従業員を把握することができますか」という厳しい意見がつけられていました。

そのまま2年ほど「会社のおおらかさが裏目に出て、乱雑で生産性の低い現場」「企業ビジョンの不明確さに不安を持った若手の退職が続出」といった問題に目を向けながらも一歩が踏み出せず、内線電話で「工場長、ちょっとお話が」と言われるたびにおびえる日々が続きました。しかしそこまで追い詰められたことで一念発起。工場の備品を整理・廃棄し、効率的な動線を再構築しました。また、大島氏自身が全ての現場に出て業務を経験し、200件を超える現場の問題をリストアップしました。それに優先順位をつけて着実に改善。クレームの大幅減少につながったことでスタッフの信頼も得ることができました。

## 感謝の心と事業承継

工場での取り組みが評価され、本社への辞令が下りましたが、大島氏は自分の心の弱さを克服しなければと、経営者向けのボクシングプログラムに取り組みます。また、東京同友会の経営指針文化セミナーも受講、幹部会議と連携し経営指針を作成しました。まさに準備万端の状態でしたが、父に後継の意思を申し出ると却下され、逆に「創業メンバーである専務(大島氏の叔母)の信頼を得なければ承継は認めない」との課題を与えられます。大島氏と専務は幼少期から不仲で、入社後も細かく指摘や注意を受け続け、口喧嘩が絶えませんでした。

当時学び始めたボクシングで、コーチ陣からは「闘争心だけでなく感謝の心があるからこそ勝てる」という言葉を言われ続けていましたが、当時の大島氏には腑に落ちませんでした。しかしトレーニングを続け心身ともに余裕ができると、仕事でも職場環境や社員へのふとした気配り、思いやりができるようになった自分に気が付きます。「これが感謝の心なのではないか」と思い、専務にも「私に厳しい言葉をかけ続けたのは『フジコン永続のためにはあなたが自分に厳しく行動できなければいけない』と伝えたかったのです。心を入れ替えてフジコンの永続を目指しますので、これからもよろしくお願いします」と伝えました。するとその日から二人は和解し、今では心強いパートナーとなっています。大島氏は「自分が変われば相手も変わる」を実感したといいます。



フジコン(株) 代表取締役 大島 右京氏

その一年後、父からも認められ、代表取締役社長に就任。父は会長となりました。ある日、利益率重視の大島氏と営業部長で意見の相違が起きました。営業部長の「会長が聞けばこのやり方で許可するはずだ」という意見に従い三者面談を行うと、会長は「確かに今までならば私が許可している。しかしこれからは100年企業に向かっていくために利益を重視しなければいけない。新社長の考えが正しい」と、自身を信頼してくれました。「とても嬉しかった。つい最近まで49年間社長を勤めてきたきた父が、承継に17年もかけてしまった自分のことを『新社長が正しい』とベテランの幹部に言ってくれた」「後継者として新しいことをやりたいというだけでなく、先人が会社を築き上げてきた想いに、感謝の心で寄り添わなくてはいけない」と声を詰まらせながら振り返りました。

## フジコン新価値創造

大島氏は今、フジコンの100年永続を見据え「新価値創造」に重点を置いています。キーとなるのが「健康経営」「宇宙ビジネス」「スタープロジェクト」です。

フジコンで働くことが心身の健康につながることをめざすのが健康経営です。ボクシングが承継・経営の大きな助けになった自身の経験から、経営指針の3か年計画に経産省「健康経営優良法人」認定と社員の運動習慣づくりを目標として組み込みました。認定に向けては社内委員会が中心になり活動。運動習慣づくりは、社長と幹部がマラソン、ジム通い、昼休みの軽い運動など、各自の目標を設定し社内への普及を目当てにします。特にマラソンは社員だけでなく、取引先や同友会メンバーにも波及しています。

もう一つのカギが昨年からは始まった宇宙ビジネスです。もともと宇宙通信設備に自社製品が利用されていたこと、大島氏が宇宙ロケット関連での人脈を作ったことなどが重なりスタートしました。部門を新しく立ち上げ、自社製品の開発に向けて社内学習会などを実施。コスト競争になりやすい製造販売だけでなく、宇宙サービスの立ち上げや連携などの多

角化も視野に入れています。

「強みを生かした多角化」を考えていく中で「社員さん一人一人が持つスター性を見出して価値化、社内外に提供することで、互いを尊重しあう社風づくり、仕事づくりにもつながるのでは」というコンセプトでスタートしたのが「スタープロジェクト」です。PR動画で社員さんが歌ったり、社内からマナー講師を輩出するなどのユニークな取り組みが行われ、新しい仕事にもつながっています。

最後に大島氏は、フジコンの今の課題についても、企業ビジョンを図解化したり、若手幹部の学習会が自主的に発足するなどの取り組みが進んでいると報告し、「自分が考えるすべての要素は100年企業に向けてつながっている。社員さんの理解を得ながら永続企業に突き進みたい」と抱負を語りました。

## グループ討論～懇親会

その後「今乗り越えなければいけない課題は何ですか？」をテーマとするグループ討論に移りました。創業者、後継者、社員といったそれぞれの立場から、現状の課題や将来的展望について活発な討論が行われました。

最後に大久保 徳朗座長(株)大久保硝子店 専務取締役)から「大島氏の社内改革、事業承継に学ぶのは、知ること、聞くこと、感謝することではないでしょうか。会社を支えてきた創業者や社員さん、関連企業への感謝の思いを忘れずに、野心とビジョンを持ち、率先して会社を良くしていくのが後継者のあるべき姿勢ではないでしょうか」とまとめがあり、第1部は閉会しました。

第2部の懇親会は志田 清志氏(株)ベーカリー中村屋 代表取締役)の乾杯でスタートし、各地同友会の青年部活動PRを交えながら交流を深めました。また、9月12、13日に開催される第47回青年経営者全国交流会(青全交) in 熊本の実行委員長を務める森 弘国氏(株)マスマガ 代表取締役)から「今の悩みを解決したその先に、我々はどんなビジョンを抱くのか。志を磨き合う青全交の場で語り合いたい」とメッセージが贈られました。



森 弘国氏

青年部準備会は、次年度の青年部設立に向け、青年部メンバーを募集しています。  
詳細は同封の案内をご覧ください。

# 山形県中小企業家同友会 第35回定時総会

日時: **4月17日(水)**

受付/12:30 開会/13:00

会場: **パレスグランデール**

山形市荒楯町1-17-40 ☎023-633-3313

参加費: 第1部 (定時総会) **無料**

第2部 (記念講演・グループ討論)  
**2,000円**

会員同伴の社員の参加費は無料

第3部 (懇親パーティー) **6,000円**

## タイムテーブル

第1部 定時総会 13:00~14:20

第2部 セレモニー 14:30~14:45

記念講演 14:45~16:15

グループ討論 16:25~18:10

第3部 懇親パーティー 18:30~20:00

## 記念講演

テーマ

**16年連続債務超過から**

**強くて良い会社へ**

**～同友会活動と企業経営は不離一体～**

講師: 株式会社イベント21

代表取締役 **中野愛一郎氏**

(奈良同友会・中同協青年部連絡会代表)

中野氏が26歳になった2007年、父の急逝を機に職業「旅人」から会社を継ぐことを決心。16年連続の累積債務を抱えている状態で4名いた社員は反発ばかり。そんな時、友人の紹介を経て薫にもずがる思いで同友会に入会。仲間のアドバイスを受け、自社で素直に実践し続けることによって、現在売上が16億円、ホーチミン支店と国内7支店を開設し、社員数は162名になるまで成長しました。Webで新市場・新販路・新事業を展開してきた中野氏は、「同友会の神髄はインプットではなくアウトプットにある」と語ります。汗をかいて気づき、真の学びを体得して自社に生かす。全ては「役得」と思い実践してきたことが自社にも還元され、信念と理念を共有できる社員とともに企業躍進の推進力となっています。

## 第35回定時総会実行委員長挨拶



株式会社山形ビルサービス  
常務取締役  
**與田貴博**

昨年、第34回定時総会副実行委員として佐藤淳実行委員長の下に学び、今回大役を仰せつかりました第35回定時総会実行委員長の株式会社山形ビルサービス 與田と申します。

2019年度山形同友会は、『備えよう、次のステージへ～ポスト2020年～』をスローガンに掲げ、それに向かい始動する定時総会となります。また、来たる中同協50周年に際し、全国5万名会員の目標に向け

全県支部が集い力強い一歩を踏み出す機会となります。

第35回定時総会の記念講演は、奈良同友会、株式会社イベント21 代表取締役 中野愛一郎氏を講師にお招きし、「16年連続債務超過から強くて良い会社へ～同友会活動と企業経営は不離一体～」と題し、報告して頂きます。

先ずは、中野氏のプロフィールをご一読ください。この12年という月日を中野氏がどれほどの悩みと葛藤を

繰り返しながら、ドラスティックな変革を創り、歩み、そして現在の飛ぶ鳥を落とす勢いまで達したのか。その一端に驚かれるはず。売上は1億から16億。ホーチミン支店と国内7支店を開設。社員4名が162名。これほど強烈な経営者のお話を聞ける機会はなかなかありません。講演では、もっともっと掘り下げた話を聴くことが出来ますので、聴き逃すのは余りにももったいないです。必ずや皆様の悩みや問題を解決し、成長できるヒントがあります。

さらに、中野氏は中同協青年部連絡会代表も務められており、元気と個性あふれる全国の同友会青年メンバーを束ねる人望と強力なエネルギーを持ち、最も勢いのある同友会人のひとりと言えるでしょう。いよいよ4月より発足する山形県中小企業家同友会“青年部”との相乗効果を生む、素晴らしい講演となることを確信しています。経営者の皆様はもちろん、これから経営を引き継がれる方、そして引き継ぐ方、経営幹部、社員の皆様も奮ってご参加下さいませようお願い致します。併せて、会員候補者へのゲスト参加のお声掛けもして頂けたら幸いです。

機会は自ら創るもの。皆様のご参加お待ちしております！

# 2019年度全国行事のご案内

## 全国の仲間と学び、交流を深めよう！

同友会の魅力の一つが全国行事です。2019年度は下記の日程で開催されます。全国の仲間と学び、交流を深める機会です。奮ってご参加ください。

### 第22回女性経営者 全国交流会 in広島

開催日:6月13日(木)~14日(金)  
会 場:リーガロイヤルホテル広島

### 中小企業家同友会全国協議会 第51回定時総会 in東京

開催日:7月4日(木)~5日(金)  
会 場:京王プラザホテル

### 2019 経営労働問題 全国交流会 in岩手

開催日:8月29日(木)~30日(金)  
会 場:ホテルメトロポリタン盛岡  
NEW WING

### 第47回青年経営者 全国交流会 in熊本

開催日:9月12日(木)~13日(金)  
会 場:ホテル日航熊本

### 第20回障害者問題 全国交流会 in滋賀

開催日:10月17日(木)~18日(金)  
会 場:琵琶湖ホテル

### 第29回社員教育活動 全国研修交流会 in岡山

開催日:11月28日(木)~29日(金)  
会 場:ANAクラウンプラザホテル岡山

### 第50回中小企業問題 全国研究集会 in京都

開催日:2020年2月13日(木)~14日(金)  
会 場:国立京都国際会館

参加申し込み、お問い合わせは、山形同友会事務局までご連絡ください。

# 第11回理事会報告

◆日時:2019年3月13日(水)午後3時~午後5時 ◆会場:山形同友会事務局 ◆議長:後藤副代表理事  
◆出席者:(敬称略)西塔、菅原、後藤、阿部(和)、赤塚、齊加、阿部(敦)、武内、八代、板垣(skype)、田中(skype)、松岡、大久保、與田、笹林、伊藤(誠)、事務局 矢作、後藤、芳賀

## ■開会挨拶

西塔代表理事が挨拶に代え、「第49回中小企業問題全国研究集会in長崎」「中同協・第4回幹事会」の報告をしました。

## ■報告事項

- 1)第49回中小企業問題全国研究集会in長崎報告  
(2/21~22)2名参加
- 2)中同協・第4回幹事会報告(3/12 東京)
- 3)2018年度2月月次決算報告(矢作事務局長)

■承認事項(入・退会承認) 入会5名 退会2名 3/13現在407名

## ■討議事項

### 議題1:2018年度組織目標達成に向けて

大久保理事より前日に開かれた青年部設立決起集会についての報告と、青年部について「同友会理念と高い志のもと、若手経営者が交流を深めるとともに、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけ、常にチャレンジの姿勢を大切に挑戦し続け、会員企業ならびに山形経済の振興・発展に寄与すること」を目的として、2019年度の活動は「若手経営者がお互いを知り共に学びあう例会」「経営者が理解しておくべき数値について、全6講」を行い、会員増強にもつなげたいと報告がありました。

次に菅原代表理事から現在十数社の入会見込みがあることが報告され、組織目標達成に向けて支部の垣根を越えてのゲスト紹介の協力依頼がありました。また、退会率は減少しており、取り組みによる活性化の成果が表れていること、入会率が課題となっている現状について説明した上で、過去にはイベント等に向けた大幅増強の直後に大幅減が起っていたことから、純増し続ける組織になると同時に地道な活動で会員が根付き真の経営課題に気づき、委員会等で解決し輝く企業になっていただくのが本質的な目的であるということを見失わず取り組んでいくことが提起されました。

### 議題2:中期ビジョン進捗報告について

後藤副代表理事から中期ビジョン進捗状況の報告があり、前文を修正することで承認されました。

### 議題3:議案書の作成にあたって

前回理事会以降に加筆・修正した2018年度活動のまとめ(案)、2019年度活動方針(案)、事業計画案が提案され、組織委員会の方針を一部修正することで承認されました。

2019年度役員(案)については、役員選考委員会への推薦案が決まりました。

### 議題4:2019年度予算(案)について

西塔代表理事より予算案について説明があり、一部修正すること

を確認の上、次回理事会で決定します。

### 議題5:第35回定時総会について

実行委員長の與田理事よりタイムスケジュール、予算案、下記の参加目標と参加呼びかけの依頼、予算案について提案があり、承認されました。

支 部	昨年企業数	目標企業数
山 形	89	100
寒 河 江	23	25
さくらんぼ	12	15
置 賜	11	15
庄 内	8	10
新 庄 最 上	5	6
ゲスト(金融等)	4	
合 計	152	171

### 議題6:2019新春交流会のまとめ

大久保理事が、協力のお礼を述べた後、2019新春交流会の特徴・次回への課題・収支報告を提案し、承認されました。

### 議題7:山形大学からの依頼について

西塔代表理事が、山形大学が内閣府地方創生推進室「2019年度地方と東京圏の大学生対流促進事業」に応募するにあたり、山形同友会に参画経済団体の依頼が来ていることを説明し、参画することが承認されました。

### 議題8:引越しに関する費用の件

西塔代表理事より引越し費用の提案があり、承認されました。

## ■その他

- 1)今後の予定

合同企業説明会	3月26日(火)13:00~ 山形テルサ
合同入社式・新入社員研修	4月3日(水)9:00~ ホテルソフォニアアネックス

- 2)第12回理事会の日程について

- 日時:4月10日(水)午後3時~午後5時
- 会場:山形同友会事務局

## ■閉会挨拶

菅原代表理事が「各活動が活性化し始めて、良い方向に向かいつつあるので、さらに活性化させ、同友会運動の真の趣旨を理解していただいた上で、理事の皆様については今後ともよろしくお願ひしたい」と述べました。



まつだ よしあき  
◆ 松田 芳晃 氏  
(株)ソーカ 専務取締役  
製造業  
山形支部

にと りょうすけ  
◆ 二戸 良典 氏  
三條物産(株) 取締役社長室長  
鉄鋼二次製品卸販売・建築資材卸  
山形支部

さとう こういち  
◆ 佐藤 公一 氏  
ワッツ・ワッツ・ファーム 代表  
野菜の生産販売  
庄内支部

おおば りょう  
◆ 大場 亮 氏  
(株)建装テクノ 代表取締役社長  
塗装・改修工事業  
山形支部

とうかいりん みちや  
◆ 東海林 道哉 氏  
ヤマリョー(株) 常務取締役  
石油製品販売業  
山形支部

同友やまがた4月号 (2019年4月1日発行/通巻313号)

“知り合い、学び合い、援け合い”  
山形県中小企業家同友会

〒990-2161 山形県山形市大字漆山字大段1865-5 TISビルディング201  
TEL (023) 615-8302 FAX (023) 615-8304  
URL: <http://yamagata.doyu.jp/> E-mail: [info@yamagata-doyu.jp](mailto:info@yamagata-doyu.jp)



## 【社員共育委員会】

### 「管理と戦略」について

社員共育委員会は毎月第3水曜日に委員会を事務局にて開催しています。

その中で「学習会」という時間をとり、決められた報告者が問題提起をし、討論しています。

今月はA社長より「管理と戦略」について問題提起があり討論しました。

.....

一つ目は、

社員（弟）がお客様に分割払いを許可なく確約していた。

自分は、分割払いはお受けしないという方針を徹底したい。

売買に関してマニュアル作成すべきとも思ったが、小企業なので口頭での合意形成でも良いのではないかと迷っている……という問題提起がありました。

この事に対して

「これまでの自身の口頭指示が毎回ブレている可能性も危惧すべき。マニュアル作成しても良いと思うが、自分が活用するという意味も込めた方が良い」

「家業から企業化するという中でままある事例なので、同友会員の体験に学ぶところがあるのではないか」

「見積もりが〇〇円を超えたら社長に相談というように、ケースごとに対応する状態の方が良いのではないか」

「自社では営業担当に一定権限があるが、会社からは利益率の水準について指定があり、見積もり時点でそれを割る場合は要相談としている」

と、様々な意見が出ました。

この管理の問題は上記 2 件のような、「見積承認」の方式にするのが良いとなりました。

現在受注となってから承認する形になるため問題が起こっているため、見積承認型に変えて先行管理をする事が解決方法ではとなりました。

次に戦略について、

現状の売り上げは順調だが、中長期的には自信が無く先が見えない。

法人営業を強化するにはどうすれば良いかわからない……と問題提起がありました。

「社長が戦略を打ち出さないと、社員には目標だけが下りてくるので、なんでこの目標を達成する必要があるのかという不満が出る」

「量販店と比べて明確な強みがあるのだから売り出すべき」

など、様々な意見が出ました。

また、事業細分化による戦略立案のデモンストレーションも行いました。

討論は弟さんとの関係について発展し、

「そもそも弟さんとの和解がビジョン明確化以前の課題ではないか」

「数字を根拠に互いの役割を明確にできるとよい」

「良い会社にしたいという話があったが、弟さんと良い会社の価値観を徹底的に突き詰めるべき。意見が大きく違っていてもどの点がどのくらい違うのかを具体的に知れた方が良いのではないか」  
「やる気がないのでは？とか何も考えていないのでは？とばかり考えず、兄に負けたくない、そのために兄の土俵で張り合うべきではないという考えもありうることを念頭に置く事が必要では」  
「信頼・働き甲斐といったあいまいなものほど徹底的に突き詰めた方が良い」  
「他人を理解する、と考えるといさかいが生まれやすいし完全な他者理解は土台不可能なことなのでまずはありのままを受け入れる事をしたほうが良いのでは」  
などの意見が出ました。

経営者の悩みは多岐に渡ります。

A社長は討論終了後に、「今まで何もわからなかった」「もっとこの委員会に出て学んでいきたい」と晴れやかに語っていました。

.....

こんな学習会をしています。

自社の経営課題をお持ちになってゲスト参加してみませんか？

## 社員共育委員会からのお知らせ

社員共育委員会は現在 13 名のメンバーで構成されていますが、諸事情により中々参加できない方もいらっしゃいます。

そこで現在登録されているメンバーを一度解散して来季に向けて新たにメンバーを募集致します。

経営理念、経営指針又は事業計画書をお持ちの企業で経営者、経営陣であればどなたでも委員会メンバーとなれます。

委員会は毎月 1 回第 3 水曜日に行っています。

委員会では

- ・各社経営状況
- ・経営指針実践状況の報告
- ・研修の企画運営
- ・労働環境整備についての情報交換
- ・各社の人材育成に係る課題についての勉強会

をしています。

社員共育委員会は単に研修の企画運営の会ではありません。委員会メンバーが学び、成長する為の委員会です。是非メンバー登録をお願い致します。また、委員会へのゲスト参加も大歓迎致します。

宜しくお願い致します。

【連絡先】同友会事務局

Tel:023-615-8302

Fax:023-615-8304

Mail:info@yamagata-doyu.jp